



子育ての不安や
悩みを解消する
お手伝いをします



あおもり 子育てネット

令和4年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞
作品

気づいてる? いじめと遊びの 境界線

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

むつ市立大平中学校 1年 木村 純々音
※受賞当時の学校と学年です

小学校教員の魅力を発信!!

— 『あおもりで働こう』小学校教員魅力向上事業 —

青森県内の公立学校では、ここ数年、多くの教員が定年退職を迎えています。

その一方で、教員採用試験の応募者数は年々減少し、特に小学校では倍率が2倍を切り、今年度は1.1倍となっています。

応募者数が減少している理由としては、人口減少が一つの要因と考えられますが、ほかにも「先生は忙しい」、「先生の仕事って大変そう」といったイメージが強いのかもしれません。

しかし、**教員は、青森の未来を担う子どもたちの可能性を伸ばし育て、とても大切な仕事であり、子どもたちの成長に立ち会うことのできる魅力ある仕事です。教員でなければ体験できない感動や喜びもたくさんあります。**

『あおもりで働こう』小学校教員魅力向上事業では、そのような教員の魅力を発信するとともに、教員の確保に向けた取組を進めています。



教員採用試験の小学校の応募者数と倍率の推移

取組 1 小学校教員の授業動画作成!

授業中の先生は、どんなところを見ているんだろう? 子どもたちにどのように声をかけるんだろう?

そんな「授業」の様子を知るため、小学校の先生に小型カメラをつけてもらい、教員目線による授業動画を作成しました。この動画は、教員を目指す大学生への説明会等で公開しており、模擬体験を通して、授業展開や子どもへの接し方などについて学生のみなさんに考えてもらうきっかけとなっています。

授業動画の撮影は青森市立金沢小学校の皆さんにご協力いただきました。



授業中の小学生の様子を見てニコニコしながらも真剣に視聴する大学生の皆さん。(弘前大学)



取組 2 高校生が小学校教員の魅力を引き出します!

教員を目指す高校生が小学校の教員へ突撃インタビュー! 教員の魅力ややりがい、教員を志したきっかけなど、憧れの教員の仕事についてあれこれ聞いていきます。

インタビューの様子は、県教育委員会ホームページ等で発信しますので、ぜひご覧ください。

インタビュー実施校(インタビューー高校生在籍校)

- 青森市立金沢小学校 (青森東高等学校)
- つがる市立向陽小学校 (木造高等学校)
- 藤崎町立藤崎中央小学校 (弘前南高等学校)
- 三沢市立岡三沢小学校 (三沢高等学校)
- むつ市立大平小学校 (田名部高等学校、大湊高等学校)
- 八戸市立白銀小学校 (八戸北高等学校)



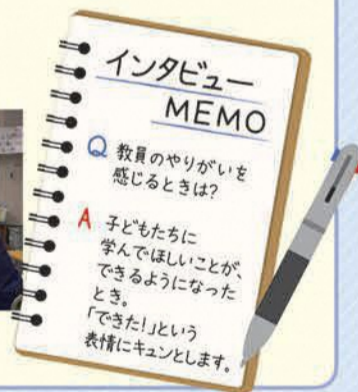
インタビューの様子はこちらから!



インタビュー開始前、FM局のパーソナリティからアドバイスをもらいました。



どんな順序で質問しようか、入念に打ち合わせを行いました。



取組 3 小学校教員の魅力発信セミナー(仮称)を開催します!

教員を目指す高校生やその保護者等を対象に、青森県の教員として働く魅力をお伝えします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

日時(予定) 令和6年2月

内容(予定) ○講演⇒青森の教員の魅力をプレゼン!

○座談会⇒現任教員による本音トーク

○ワークショップ⇒授業動画で模擬体験

○教員になろう⇒青森県の教育、教員採用試験の概要説明

○質問ブース⇒現任教員が皆さんの「?」にお答えします!



取組 4 小学校教諭免許状の取得を支援します!

幼稚園教諭普通免許状を有し(※)、幼稚園等の教員として3年以上の勤務年数がある場合、13単位を追加で修得すると、小学校教諭二種免許状を取得することができます。

県教育委員会では、単位修得に必要な認定講習を開設しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。(今年度の募集は終了しました。)

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/ninteikousyuu.html>

※教員免許更新制の解消により、令和4年7月1日時点で有効な免許状は、有効期限のない免許状となりました。



あなたの「学びたい」を支援します ～ 修学支援制度 ～

高等学校等就学支援金

高等学校等に在学している生徒に対して、授業料に充てる支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するための制度(返済は不要)です。

受給資格

- 生徒が高等学校、専修学校高等課程等に在学していること。
- 生徒が日本国内に住所を有していること。
- 保護者等の市町村民税の課税標準額に6%を乗じた額から市町村民税の調整控除額を差し引いた額(両親がいる場合は2名の合算額)が304,200円未満であること。

支給額

公立	全日制		定時制		通信制	
	9,900円/月 (年収590～910万円未満程度)	—	2,700円/月	—	単位制 1単位 310円 上記以外 9,900円/月	単位制 1単位 4,812円 上記以外 12,030円 24,750円/月
私立	33,000円/月 (年収590万円未満程度)		—		単位制 1単位 12,030円 上記以外 24,750円/月	
	<青森県私立高等学校等就学支援費補助金> 年収590～710万円未満程度の場合、県が上乗せして補助します。 (9,900円/月(全日制の場合)) また、生活保護受給世帯及び非課税世帯の場合には、新一年生の入学金についても支援します。(上限50,000円/年)					

※保護者等の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

在学する学校から申請手続のお知らせがありますので、それによって申請手続を行ってください。

問(公立)各公立高校又は教育庁学校施設課 TEL017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/koutougakkoutousyuuugakusienkinn.html>



問(私立)各私立高校又は総務部総務学事課 TEL017-734-9869
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/gakuji/gakuji-shinko.html>



※ 上記の内容は、令和5年度のものであり、国の制度改正などにより内容が変更となる場合があります。

高校生等奨学のための給付金

授業料以外の教育費負担を軽減するため、一定の要件を満たす高校生等の保護者等に給付金を給付する制度(返済は不要)です。

給付要件

- 高校生等が高等学校等に在学していること。
- 高校生等が高等学校等就学支援金の受給資格者又は学び直し支援金の受給権者又は家計急変世帯への支援として実施した授業料減免措置の受給権者であること。
- 高校生等が平成26年4月1日以降に高等学校等に入学した者であること。
- 保護者等が青森県内に住所を有していること。
- 基準日(原則7月1日)において、生活保護法による生業扶助を受けていること又は基準日の属する年度分の保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税であること。

給付額

対象者	国公立(年額)		私立(年額)	
	通信制以外	通信制	通信制以外	通信制
生活保護(生業扶助)受給世帯	32,300円	32,300円	52,600円	52,600円
非課税世帯	第1子の高校生等	117,100円	137,600円	52,100円
	第2子以降の高校生等	143,700円	152,000円	52,100円
	専攻科に通う生徒	50,500円	52,100円	

※保護者等の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

在学する学校から申請手続のお知らせがありますので、それによって各学校へ申請書類を提出してください。



問(国公立)各公立学校又は教育庁学校施設課 TEL017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/shougakukyuuufukin.html>



問(私立)各私立学校又は総務部総務学事課 TEL017-734-9869
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/gakuji/gakuji-shinko.html>



大学奨学生募集 ～大学在学中に必要な経費に充てるための無利子の奨学金です～

申込資格

令和6年4月に大学入学見込みの方で、保護者が青森県民であり、他の団体等から奨学金の貸与予定がない方(併願はできますが、併給はできません。ただし、給付型に限り併給が可能です。)

募集人員

90人 貸与月額及び貸与期間 月額44,000円 4年間(医学科等は6年間)

返還

無利子で、貸与終了後1年据え置き、貸与期間の2倍の期間内(ただし、8年を超える場合は8年間)で全額返還。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。

貸与総額 (4年間貸与)	返還年数	月賦の場合		半年賦の場合		年賦の場合	
		金額	回数	金額	回数	金額	回数
2,112,000円	8年	22,000円	96回	132,000円	16回	264,000円	8回

申込方法

県内の各高校及び各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに、令和6年3月に高校を卒業予定の方は**在学期間が指定する期日**までに同校へ、それ以外の方は令和6年3月29日(金)までに青森県育英奨学会へ提出してください。



問 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL.017-734-9820

※詳細はHPでもご確認ください

教育支援資金

低所得者世帯の方々にお子さんの修学資金の貸付を行います。

対象

他の貸付制度の利用が困難で、償還と自立が見込まれる低所得者世帯の方



貸与限度額

教育支援費/月		就学支度費
高等学校	35,000円以内	
高等専門学校・短期大学	60,000円以内	
大学	65,000円以内	500,000円以内

※教育支援費については、特に必要と認める場合に限り、貸与限度額の1.5倍の額まで貸付可能です。

返還

無利子で、卒業後6か月以内据え置き、20年以内に返還。

申込方法

下記問い合わせ先までご相談ください。

問 お住まいの市町村にある社会福祉協議会又は、
 青森県社会福祉協議会地域福祉課 TEL.017-723-1391(代表)

母子父子寡婦福祉資金(修学資金・就学支度資金)

母子家庭・父子家庭・寡婦の方々にお子さんの修学資金等の貸付を行います。

対象等

母子家庭の母が扶養する児童、父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童又は寡婦が扶養する子

対象経費

修学するための授業料、書籍代、通学費等及び就学するための被服等の購入に必要な資金

返還

無利子で、貸与終了後6か月据え置き、20年以内に返還

申込方法

お住まいの地区の右記問い合わせ先までご相談ください。(※青森市にお住まいの方は青森子育て支援課に、八戸市にお住まいの方は八戸市子ども家庭相談室に、お問い合わせください。)

貸与限度額

※高校、大学の場合は、下の表にかかわらず、実際に貸付を受けられる金額は、申請される方の所得や高等教育の修学支援新制度の対象となるかどうかにより変更となります。

<修学資金月額>:修学期間中、毎月貸付が行われます。

<就学支度資金>:原則、就学前に1度のみ貸付が行われます。

	国・公立		私立			国・公立		私立	
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者		自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者
高校	27,000円	34,500円	45,000円	52,500円	高校	150,000円	160,000円	410,000円	420,000円
大学	71,000円	108,500円	108,500円	146,000円	大学	410,000円	420,000円	580,000円	590,000円

問	東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室	017-734-9950	上北地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0176-62-2145
	中地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0172-35-1622	下北地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0175-22-2296
	三八地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0178-27-4435	青森子育て支援課	017-734-5334
	西北地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0173-35-2156	八戸市子ども家庭相談室	0178-38-0703

つながろう！／ひろげよう！ 地域と学校とのパートナーシップ強化事業

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)(※1)と地域学校協働活動(※2)の更なる推進と充実を目指し、地域と学校のパートナーシップを強めるための取組を行っています。

※1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは？

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への転換を図るための仕組みです。



※2 地域学校協働活動とは？

「**学校を核とした地域づくり**」を目指し、地域住民や学生、保護者、企業等の幅広い参画を得て、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。地域全体で未来を担う子ども達の成長を支える仕組みです。

地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会 (三八地区・中南地区)

地域活動団体関係者及び企業の方々が、学校と連携・協働して子どもたちを育てることの必要性や、国が進めている「地域学校協働活動」、県内企業が行っている事例について学びながら、学校との連携のあり方等に話し合う情報交換会を開催しました。



やわたま
八幡馬は八戸地方で作られる民芸品。伝統文化の継承には「**知ってもらう**」、「**興味を持ってもらう**」、「**触れてもらう**」ということが**大事**と考え、小学校で出前授業を行っています。

やわたま
(株)八幡馬(八戸市)
代表取締役 高橋 利典 氏

子ども達の職場体験では、電気設備工事等の専門技術だけではなく、総務の経理事務や設計業務など直接工事に関すること以外のポジションがどのように機能しているか、**企業全体の仕組みや組織の在り方**について分かりやすくしています。



和電工業(株)(弘前市)
代表取締役社長 藤田 あつ志 氏

学校と地域のネットワークづくり (三八地区・中南地区)

地域活動団体関係者及び企業の方々に加え、学校関係者と教育委員会関係者等が一堂に会し、参加者同士が交流しながら、学校と地域の連携・協働(地域学校協働活動)への理解及びネットワークの構築を図るための交流会を開催しました。

交流会では、「みんなで育む地域の子どもたち」をテーマに、「どんな子どもを育みたいか」や「学校教育に地域の力をどのように生かすか」などについて意見を出し合いながら、参加者同士がネットワークの構築を図りました。

地域学校協働活動は、**大人が地域でのつながり**をつくり、子どもを真ん中にして**チームになって動く**ことが必要です。



ファシリテーター
特定非営利活動法人
まなびのたねネットワーク
代表理事 伊勢 みゆき 氏



この事業では、上記取組のほか、地域学校協働活動についての研修や市町村教育委員会等への相談支援、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入したモデル県立学校への地域学校協働活動推進員の配置を行っています。

問 生涯学習課 企画振興グループ TEL. 017-734-9888

将来の魅力ある高等学校の在り方を検討しています！

青森県立高等学校魅力づくり検討会議

県教育委員会では、今年度、県内の様々な分野の方々に構成される**青森県立高等学校魅力づくり検討会議**を設置し、将来の本県高等学校教育を見据えた「**魅力ある高等学校**」の在り方について、検討していただいています。

また、委員の検討を深めるため、会議のほか、中学生や高校生、保護者、教員などを対象とした「高等学校教育に関する意識調査」の実施や、検討会議委員による学校視察を行います。

なお、検討結果については、令和7年2月頃を目途に、教育長に報告していただくこととしています。



検討事項

- ① これからの時代に求められる力を育む学校・学科の充実について
- ② 生徒一人一人に充実した教育環境を提供するための学校配置について

委員構成

- 大学関係者
- 産業関係者
- PTA関係者
- 報道関係者
- 市町村教育委員会関係者
- 中学校関係者
- 高校関係者 等



検討会議は公開で実施しており、傍聴が可能となっています。また、会議資料や概要は、随時、県教育委員会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。ご意見等についても、以下のとおり随時受け付けています。

【ご意見等の宛て先】

〒030-8540 青森市長島1-1-1 高等学校教育改革推進室
TEL:017-734-9866 FAX:017-734-8003
E-mail:E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kaikaku/iken_youbou.html



青森県立高等学校魅力づくり検討会議

「学校と地域・企業等を つなぐキャリア教育研修会」 について

県総合社会教育センターでは、地域の子どものための望ましい職業観や人生観を育むキャリア教育の推進に向けて、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者が、一堂に会して学ぶ研修機会を提供しています。
研修の内容は、地域や地元企業の方々等が、職業人講師として中学生と対話しつつ職業観を育む対話集会と、関係者が一堂に会し今後のキャリア教育について協議する意見交換会となっており、開催に当たっては、県内6地区に整備されているキャリア教育を支援する仕組みである「教育支援プラットフォーム」と連携協力しながら進めています。

私たち、こんな活動しています！～中学校でのキャリア教育～

むつ市立むつ中学校

令和5年6月22日(木)に開催の研修会では、19人(16職種)の講師の方々から、実際の仕事の内容や、やりがい、苦労している点などを生徒たちにお話しいただきました。

生徒たちは「楽しかった！また参加したい！」、「もっと他の職業のことを調べたり、話を聞いたりしたくなった。」など前向きな感想が多数出て、将来の職業や、どのように働くかということについて、関心が高まった様子でした。

また、教員からは、「普段の学校生活だけでは得ることの出来ない知識を講師の方から直接聞くことができ、とても良い経験になった。」という声が寄せられました。



～意見交換会では～

下北地区教育支援プラットフォーム実行委員会のメンバー、地域学校協働活動推進員、企業や団体など多くの方々により、キャリア教育の充実に向けて、それぞれの立場から出来ること等を話し合い、ネットワークを広げることができました。



★当日の様子を詳しくご覧になれます！➡



鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校

令和5年11月7日(火)の研修会は、鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校、つがる市立稲垣中学校、深浦町立大戸瀬中学校の3校合同で開催。16人(14職種)の講師の方々から、仕事を選択した動機や仕事をしていく上で大事なことを生徒たちにお話しいただきました。

生徒たちからは「これからの生活を大切に、今私ができる精一杯の勉強をして自分の選択肢を広げていきたいと思いました。」「たくさん悩んで、夢や目標に向かっていきたいです。」など、多くのプラス思考な感想が出されていました。

また、教員からは、「仕事内容が具体的にイメージでき、地域との関わりについても学べ、働く意義について考えを深められた。」という声が寄せられました。



～意見交換会では～

下北地区教育支援プラットフォーム実行委員会のメンバー、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員、企業や団体など多くの方々により、次年度以降、どのような関わり方ができるのかなどを話し合いました。いろいろな意見やアイデアが出され、キャリア教育の重要性を再認識する機会となりました。



★当日の様子を詳しくご覧になれます！➡



おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。
(県教育庁教育政策課 情報広報グループ広報担当 TEL 017-734-9868)

図書館・近代文学館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

- 日 時/令和6年1月13日(土) 14:00～14:30
令和6年2月10日(土) 14:00～14:30
- 場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆おしえて先生！知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

- 日 時/令和6年1月27日(土) 14:00～14:30
令和6年2月24日(土) 14:00～14:30
- 場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆県内一斉開催「ウチの推し本」展

県立図書館をはじめ県内各市町村の図書館等において、あおり冬の読書週間(令和6年1月6日～1月26日)に合わせ、「ウチの推し本」を共通テーマとする展示を一斉に開催します。県立図書館では、所蔵する童画家・造本作家「武井武雄」の刊本作品群を紹介いたします。詳しくは、各図書館等のホームページをご覧ください。

- 期 日/令和6年1月4日(木)～1月24日(水)
- 場 所/県立図書館 一般閲覧室 企画展示コーナー

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



◆企画展「あおり文学食堂」開催！

いつの時代も暮らしの中に存在する「食」をテーマに、青森に関係する文学作品や作家などを紹介します！

作家が好きだった食べ物や、よく通っていたお店、作家や作品をモチーフにした食品など、様々な資料を展示しますので、ぜひ見に来てくださいね！

- 期 日/12月7日(木)～令和6年3月10日(日)
- 場 所/青森県近代文学館【青森県立図書館2階】

問 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>



青森県立郷土館サテライト展

「生誕130年・今純三 ー純三が描いた戦前の青森ー」

日本の近代銅版画の先駆者・今純三の生誕130年を記念してその画業を振り返り、彼の描いた昭和の風景や暮らしを紹介します。

- 期 間/開催中～令和6年1月28日(日)
- 開館時間/9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休 館 日/毎月第2、第4日曜日(この日が祝日の場合は、その翌日)及び12月25日～1月1日
- 場 所/青森県立美術館
- 入 場 料/一般510円、
大学生・高校生300円
小・中学生100円
※団体料金あり

問 青森県立郷土館
TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>



さんま縄文体験「土偶を作ろう」開催！

三内丸山遺跡から出土した「板状土偶」をお手本に、粘土で土偶を作ります。事前のお申込みが必要となりますので、詳しくは三内丸山遺跡センターのホームページをご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

- 開催日時/令和6年1月20日(土)
10:00～12:00
- 定 員/20名(先着順)
- 申込締切/令和6年1月4日(木)
- 参加料/無料
- ※展示や遺跡をご覧になる場合は、別途入館料が必要です。

問 三内丸山遺跡センター
TEL.017-782-9462
<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



エンジョイ！雪遊び

- 期 日/令和6年2月3日(土)・4日(日) ※どちらか1日
- 対 象/4歳以上のお子さんとその家族
- 募集人員/各日100名
- 内 容/スノーチューブすべり、そり遊び、たこあげなど
- 募集期間/1月10日(水)～12日(金)
- ※詳しくはホームページをご覧ください。

問 種差少年自然の家
TEL.0178-38-2131
<http://www.tanesashi.jp/>



梵珠少年自然の家からのお知らせ

◆冬を楽しむホワイトday

雪国ならではの野外活動を通して、冬の自然に親しみ、家族のふれあいを深めます。

- 期 日/令和6年2月4日(日)【即日】
- 対 象/小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族
- 募集人員/30家族(先着順)
- 内 容/野外活動①(「スノーシューハイキング」等3種目から選択)、館内炊事(メニューは募集案内やホームページでお知らせ)、野外活動②(「チューブそり遊び」等自由に体験)
- 応募方法/お電話でお申し込みください。
- そ の 他/参加費あり
- 募集期間/令和6年1月17日(水)～26日(金)

◆7歳わんぱくキャンプ

小学校低学年の子どもたちが親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して、基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、仲間と協力しようとする心を育てるキャンプです。

- 期 日/令和6年2月17日(土)～18日(日)【1泊2日】
- 対 象/小学1・2年生児童
- 募集人員/20名(申込み多数の場合は抽選)
- 内 容/野外活動「ぼんじゅスノーランド遊び」、館内炊事、創作活動等
- 応募方法/募集案内裏面の参加申込書に必要内容を記入の上、郵送・FAX・メールでお申し込みください。
※募集案内は学校等に配布します。また、ホームページからダウンロードもできます。
- そ の 他/参加費あり
- 募集期間/令和6年1月15日(月)～23日(火)

問 梵珠少年自然の家 TEL.0173-29-3303
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-bonju/bonju_top_index.html

